

# 蔡しポート

in 静岡

10月3日～4日、1泊2日の日程で、静岡県東伊豆町と富士宮市に視察に行ってきました。

## 東伊豆町

文教厚生副委員長

伊藤秀樹

東日本大震災による原子力発電所の事故から太陽光発電などの再生可能エネルギーが見直されるようになった。

その点で最近注目を浴びている「エコリゾートタウン東伊豆」と銘打って、再生可能エネルギーに取り組んでいる、東伊豆町を視察に行った。

### 東伊豆町の概要

東伊豆町は、伊豆半島東海岸中央に位置し、熱川や稲取などの温泉郷で知られる観光地がある。

面積約78km<sup>2</sup>

人口約13,500人

主な産業は

温泉による観光業

キンメなどの漁業

オレンジなどの農業

平地が少なく米はあま

り作られていないようだ。その他、建設業がある。周りは山ばかりだが林業はほとんどないようだ。

### エコリゾートタウン概要

「エコ」を「地球環境」

「自然環境」「里山環境」

「生活環境」ととらえ、

それぞれの環境を保護・

保全しながら、グリーン

ツーリズム・エコツーリ

ズムなどの観光手法を活

用して楽しくその大切さ

を伝えることを理念とし



担当者からの説明を聞く

ている。



### 「地球環境」

○風力発電所

平成15年12月に運転開始した町営風力発電所。

600kW×3基

○太陽光発電

平成22年度設置

庁舎屋上 20kW

各幼小中学校屋上 10kW

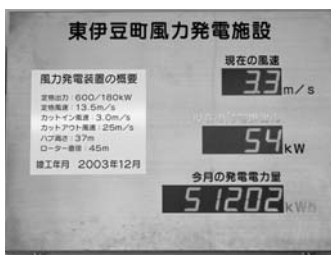
今後は消防署・図書館

に設置予定

○水力発電

昭和2年1月竣工

2,900kWの発電所



現在の発電状況

今年度、町内の公園に500W程度の小規模発電所を設置予定

○温泉発電

自治体初の温泉発電(バイナリー方式)を計

画。

地熱発電と違い温泉の

# 議員行政視

研修テーマ

10月3日 賀茂郡東伊豆町

環境・新エネルギー対策について「エコリゾート東伊豆」

10月4日 富士宮市

産業・農業振興について「フードバレー構想」

熱を利用した発電。

○バイオマス

平成19年より使用済み天ぷら油を回収しBDF（バイオディーゼル燃料）として使用。

現在3台を運転。

東伊豆町の風力発電所は小高い山の見晴らしのよい尾根に設置されている。

まわりは天城山や細野高原など豊富な自然環境があり一望できる。

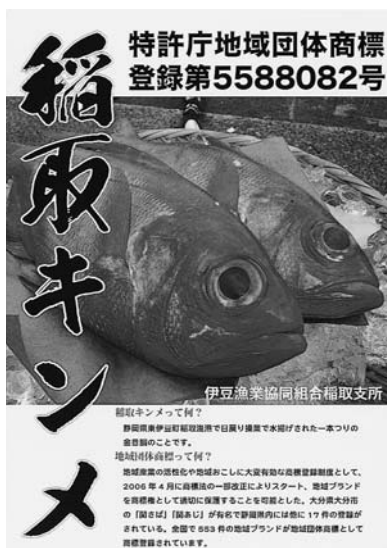
風力発電は風車を含めた全体の高さが約60mあり直径45mの風車が回転するのは圧巻だった。この風車には年間1万人以

上が視察に訪れ「エコ」の象徴となっている。

この地域は昔から有名な温泉郷だが、高速道路もなく交通が不便なため斜陽化している。

「エコ」と自然環境と日本一の稲取キンメなどの漁業や海水浴・ダイビングなどの観光資源とを結びつけ、在る物を最大限活用し近隣地域からの差別化を図ることにより町の活性化に取り組んでいる。

飛鳥村においても、いろんな面で活性化が求められている。飛鳥村より環境の整った近隣と同じことをして



地域ブランド「稲取キンメ」

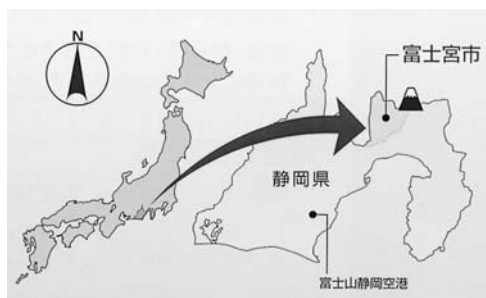
**発電（売電）例 単年度**  
 年間発電量 400万kWh（1,100世帯分）  
 年間売電計画 7,780万円  
 設備稼働率 67%  
 設備利用率 25%  
 二酸化炭素削減量 1.672トン／年

※発電した電気は18.53円×消費税1.05  
 で東京電力(株)へすべて販売  
 ※設備利用率(%)  
 =発電量400万kWh/  
 (600kWh×3基×24h×365日)×100



青い空に白い風車が映える

いては、飛鳥村は埋没してしまいい活性化はあり得ない。今回の視察から、活性化は物ばかりでなく、仕組み作りが必要と思えた。



## 富士宮市を 視察して

総務経済委員

井田晴己

富士宮市は、面積38  
8・99平方キロメー  
ル、人口135、492  
人(52、413世帯)  
の都市であります。

富士宮市はB1グラン  
プリでもご存知の富士宮  
焼きそばで、まちおこし  
をされ平成13年度から9  
年間で経済波及効果は4

39億円と推計されてお  
ります。

まちおこしの秘策は市  
民が主体となり

①一貫したまちおこし  
を目的とした

### 目的志向

②アイデアに留まらず  
実行した

### 有言実行

③行政等の金銭的支援に  
頼らなかった

### 自由な発想

④閉鎖的にならず全国の  
同士と手を組んだ

### 広域連携

⑤市の政策と一致してい  
た

フードバレー構  
想・食のきちづく  
り

このような取り組みに  
より、研修目的となった  
フードバレー構想につい  
て学んできました。

フードバレーとは、富  
士宮市が有する自然環境  
(多種多様な食資源)を

富士宮ならではの視点  
点からまちづくりに生か



フードバレー構想から生まれた  
アイデア商品

そうと、平成16年に「食」  
を生かした産業振興と市  
民の健康づくりを目指し  
提唱された。

基本的コンセプトは富  
士山と豊かな水に育まれ  
たきちづくり「食の循環」  
である。

フードバレーも5本の  
柱があり  
①食の豊富な資源を生か  
した

### 産業振興

②食のネットワーク化に  
よる

### 経済の活性化

③食と環境の調和による  
安全安心な食生活



お宮横町

④食の情報発信による  
富士宮ブランドの  
確立

### 健康づくり

また、フードバレー構  
想も市民のワークショッ  
プから立ち上がったもの  
であり地域の活性化に寄  
与しており、年間を通じ  
て活動をされておられま  
す。

今回の研修で規模は違  
うとは思いますが、行政  
主導ではなく住民主導で  
企画提案しなければ村づ  
くりはできないと感じて  
おります。



富士宮市役所にて